



網齋先生問答

單

黃地  
一



綱齋先生答問



朱子入  
淺見綱齋先生 自筆卷中

朱子  
實錄

神道氏同 講教同目

一神道 一、如キヨリ、儒道一致、西承及ハ放ナ七年以前、駿府、山城、在  
 著ニ荒越、侯節、法向、神職、也、社、宮、内、傳授、ヲ、得、テ、江ノ内、神、書  
 ヲ、集、メ、考、味、ク、其、情、節、經、世、者、ト、存、メ、論、決、吟、味、仕、由、ト、存、メ、人、ト、  
 ト、八、平、ハ、イ、申、の、故、神、道、ヤ、人、オ、業、置、の、者、時、命、モ、山、崎、を、在、神、道  
 尊、信、ノ、ハ、先、主、ノ、惑、誤、ト、妙、法、通、在、社、ト、述、ル、五、年、以、前、ヨリ、友、部  
 為、レ、其、一、此、字、極、子、の、一、太、和、中、學、中、ニ、有、之、神、道、ノ、語、文、會、等、編  
 中、ノ、語、ニ、程、治、稱、録、ノ、序、法、軌、全、書、ノ、序、本、朝、改、元、者、東、語、ト、  
 ト、ニ、カ、ハ、語、反、是、申、也、ト、下、音、名、傳、有、之、而、白、ク、存、セ、ラ、友、部、中、原、火、  
 神、道、ノ、一、ハ、多、細、不、存、由、佐、藤、直、方、大、ト、其、之、先、生、ハ、聖、道、ト、異、リ、  
 ト、テ、山、崎、天、を、凡、論、セ、ラ、直、方、大、ハ、多、絶、ノ、様、ニ、成、リ、類、ト、モ、依、テ、思、生、  
 心、中、疑、念、深、ク、山、崎、先、生、セ、ホ、ト、リ、人、ノ、感、ト、テ、有、テ、シ、ク、何、リ、極、意、ト、深、  
 中、理、ニ、シ、リ、聖、道、ト、存、シ、タ、ル、コ、リ、ア、ラ、シ、誰、リ、傳、授、ノ、人、ニ、尋、度、ト、存、  
 罷、在、外、ハ、林、忠、兵、大、取、ニ、テ、學、苑、匠、師、行、下、土、庵、ト、申、者、先、生、上、京、桑、名、  
 松、庵、ハ、儒、學、神、學、在、傳、授、ノ、文、出、雲、地、長、都、ト、神、道、懸、傳、授、申、タ、ル、田、

立慶者年江八参、于今蒙任、建方より、多由申越、故事ト悦ヒ思  
亭、早速招キ、神道ヲ當正日、下氣、不残傳授、得申候、山崎先生ノ  
會傳、土津靈社ノ文、下、仔細カノ儀式ノ旨、ナト、文見申、大感榮任、聖道一  
致ト存候、下、去其中、ニカレ、コト疑、コレアリ、一致、ナラセ、ル、モ、コレアリ、傳授、其、詩、ニ  
承、可申、レ、存候、得、共、先、多、田、逸、運、同、目、ニ、申、上、候、其、節、モ、先、相、待、候  
（愚生方より、多由申、上、下、申、候、得、共、早、ク、様、子、承、年、ト、テ、愚生、不、申  
候、テ、申、上、候、其、御、答、ニ、此、説、長、而、會、ナ、フ、テ、ナ、リ、カ、タ、キ、由、被、仰、下、候、コ、シ、ッ  
見、申、候、テ、サ、テ、ハ、先生、モ、神、道、ハ、御、同、心、コ、シ、ナ、ク、御、用、不、被、成、候、ト、存、罷、在、  
候、下、云、ト、カ、リ、ハ、病、氣、扶、特、分、事、細、書、之、承、可、申、レ、存、候、節、友、部、由、モ、キ、ト、  
リ、ヤ、リ、ニ、テ、直、方、丈、（申、候、ハ、愚生、感、シ、憂、ニ、シ、愚生、宅、ヨ、リ、直、方、丈、本、宅、ハ、  
ヤ、カ、ラ、ニ、置、ニ、近、キ、遠、方、候、ハ、其、當、春、始、ニ、愚生、宅、來、臨、ニ、申、度、説、論  
申、候、死、人、道、上、一致、ナ、ラ、セ、ル、ノ、判、也、ト、理、會、仕、テ、其、上、ニ、テ、行、下、氏、ハ、モ、申、  
論、談、申、候、コ、シ、モ、理、會、申、候、テ、愚生、モ、ヤ、メ、行、下、氏、モ、神、道、ヤ、メ、説、不、申、候、直、  
方、丈、御、申、候、ハ、其、元、先生、ニ、モ、同意、候、間、萬、運、ハ、御、答、モ、其、通、ニ、テ、  
候、ト、御、申、上、云、ク、其、通、リ、ニ、存、罷、在、候、依、之、神、道、ノ、義、申、上、正、ニ、不、

不申候、ソ、レ、テ、モ、イ、ツ、ソ、向、目、進、上、申、候、序、ニ、ト、カ、リ、承、可、申、ト、存、候、其、五、月、ヨ  
リ、頃、目、ニ、テ、持、病、不、快、如、孫、永、文、認、候、一、成、カ、タ、リ、及、延、リ、候、日、外、靖、謙、遺、言、  
御、編、義、中、中国、ノ、心、ニ、疑、コ、シ、リ、日、外、ノ、向、目、ニ、申、上、候、キ、其、後、又、考、候  
ハ、右、中国、ノ、説、中、ニ、神、代、ヨ、リ、<sup>（イ、ハ、ト、ト、ト）</sup>御、座、候、モ、コ、シ、ハ、イ、ヤ、ハ、仕、候、思、名、  
ニ、候、ヤ、聖、賢、ノ、書、中、ニ、神、代、人、代、ト、申、上、コ、シ、テ、リ、候、神、代、ハ、神、道、ヨ、リ  
申、傳、ヘ、タ、レ、テ、故、不、審、ニ、存、罷、在、候、神、ノ、字、ノ、意、經、書、ニ、ガ、候、神、  
ノ、意、ト、ハ、神、道、ニ、テ、申、候、ハ、意、ヤ、リ、申、候、イ、ヤ、ノ、男、名、ニ、テ、序、カ、ラ、承、  
申、候、慮、凡、カ、ラ、御、示、教、ヲ、受、申、ヤ、ラ、ハ、心、底、疑、コ、シ、タ、レ、ル、ノ、不、残、申、上、  
候、テ、疑、コ、シ、ラ、キ、申、度、候、上、古、リ、コ、シ、可、也、孫、ニ、奉、存、候、  
○愚生、考、候、テ、神、道、ノ、理、會、候、ハ、愚生、ア、ラ、シ、ク、忠、實、方、ハ、申、遣、候、趣、以、  
承、候、故、也、孫、ニ、破、却、仕、候、或、ニ、テ、無、也、由、改、メ、被、仰、向、候、類、至、極、任、候、由、計、  
申、越、事、細、ノ、ソ、ケ、ハ、承、名、申、候、其、上、ニ、テ、人、ノ、疑、有、之、事、ニ、候、得、ハ、一、書、御、  
著、被、成人、人、ノ、疑、ヲ、決、シ、申、候、係、被、成、可、也、者、申、上、候、付、御、得、心、被、成、一、  
書、御、答、之、可、被、成、由、被、仰、候、由、大、慶、任、候、最、早、出、弟、候、ハ、御、下、  
被、下、御、見、也、可、被、下、候、直、方、丈、上、論、候、テ、佛、神、道、上、一致、不、仕、候、依、

此侯テ、氣之極ニ存、又此侯今度承候間、如河原成、深中意候御座  
候ヤ、サモ早ク、氣度奉存候、當春ヨリハ山崎先生モ神道ノ一ノ難得其  
意人、何カト申候モ、ノリニテ罷在候中、其評ヨリ、何トク深意ニ  
アル美、承候ハ、又改メ可申候、程子門人ノ不覺、祥見トナリ、薛文靖ノ  
許、魯翁ノ旨ニ、真而山ノ理、宗八事ハ、聖ノ語リモコレリ、侯間山崎先生  
モ此類中ト被存候トナリ、思召氣、其上存寄メ候、可申上候神道  
ノ一ノ聖道ニ、教ニ人々學ビクニ、サラス候、其評先生ニ、今サ御座  
衆ハモ御座候、可被成事、侯得共、今サテ誰ニモ御座候、不被成候  
間、今サテハ御用名被成候、據ニ存罷在候中、何カニ疑イテ、中候間  
早ク承度申上候、天理、眼然ニ候ハ、サモ心中疑有之候ハ、不出ト  
私ハ被候事、故思召サラス、宗理、評ニ仕度願申上ナリ、御座  
候

先生答

神明之道ハ、則理也、妙用、天地造化之於、穆不已者、蓋乎、上而不變  
者、天神、生乎、下而不竭者、地神、存乎、人而不亡者、又神在日、則

照者、日神在日、則光者、日神、凡、神、雨、神、在、人、則、仁、木、神、氣、金、神、  
異國、人、尊、ラ、ス、ニ、ス、ル、モ、ニ、ア、ラ、ス、日、本、我、獨、在、モ、ニ、モ、ア、ラ、ス、天、地、一、統、古、  
今、一、貫、伊、勢、儀、式、序、ニ、人、ハ、ニ、ト、シ、天、人、ノ、道、シ、ト、リ、妙、用、至、精、至、密、  
皆、不、思、乎、此、上、古、世、淳、民、實、天、地、開、テ、人、文、未、備、天、地、自、然、ノ、妙、用、  
ウ、イ、テ、日、用、自、然、ノ、人、ヲ、敬、ハ、代、義、ノ、ト、華、吾、國、ノ、神、道、是、已、世、道、日、  
ヒラケ入文、亦、可、明、ニ、レ、ハ、人、道、ノ、教、列、聖、相、承、漸、ニ、親、切、具、備、ハ、  
仁、義、上、備、禮、樂、之、教、立、テ、凡、俗、化、シ、治、教、明、リ、是、以、要、綱、本、妙、  
教、ト、天、人、之、間、相、離、ハ、イ、ナ、リ、天、ヲ、天、ト、シ、人、ト、ス、ハ、自、然、ニ、天、道、人、道、  
ワ、レ、ク、ニ、元、亨、利、貞、ト、云、仁、義、禮、智、ト、云、一、而、ニ、高、一、ニ、九、當、也、是、以、聖、  
人、天、人、ノ、根、源、ヲ、以、テ、ハ、神、道、ノ、旨、ハ、言、ハ、レ、不、可、勝、數、易、所、謂、神、  
妙、萬、物、而、為、言、者、也、曰、帝、出、乎、震、曰、成、慶、化、而、行、鬼、神、曰、上、帝、  
降、衷、曰、規、天、之、神、道、聖、人、以、神、道、設、教、曰、教、之、章、之、曰、神、  
曰、鬼、神、之、為、德、其、成、公、年、曰、帝、謂、文、王、之、類、易、ノ、十、翼、ニ、  
天地、神、明、ノ、道、ヲ、ト、ク、イ、カ、タ、ハ、シ、ナ、リ、箕、子、洪、範、ノ、一、篇、モ、神、道、  
ヲ、主、ト、ス、立、レ、此、之、類、六、經、聖、賢、之、書、三、歷、々、不、可、悉、數、聖

建社程立宗廟天地山川ノ神ヲ祭先祖ヲ祭皆是神道也吾國神明之  
社歷々トアルモ皆同事也吾國ノ神唐ノ神トカフニ多クハ皆ト  
ホケタレ故也前ニ云道ノ道ノ道ノ行ハルニナリ自然ト特體カヨフニ  
若シテ天人ノ道一致ノ教アリテ神代ト云聖神之道ト云風俗全體  
自然ニ如此異説ニ有リト云天皇地皇人皇ト云ニ名号唐ノ上古  
アリ皆其時代自然ナリテ後世ヨリ云ニ也但唐ノ國ノ人物モ其  
地境ノモ大ナルニ數聖人相繼天地自然道ニ本ツイテ入道網常  
教シ立レ故鬼神神明之道モ正大精明ニテ奇怪邪僻ニナレ  
ハ日本ハ只神明妙用ノナリ奇妙神祕ニナレテ淺陋ニナレ  
奇戒神明ニ學ハ敬ノ極意見ラレテ天人一致ノ心法シトケル者ヤレ  
神ノ字日用ニトケル必神妙流シテ弊アル故教シ以テ教レ是聖人至  
善ノ道也祓除ノ節モ齋戒ナリテ金モ教ニナレテ神妙端の節  
ニテ故皆從容平實ナリテ神ノ一字以テ道器フトキ神ノ一  
字以テ日用トシ神ノ一字以テ夫トシテ之ノ天人妙用神靈昭著  
ノ效驗宗廟維持之風教フトクハ皆確切ナルコト也其弊

祈禱ヲ主トシ生靈死靈ヲ崇ビ算章ヲ費ヒ正邪ヲ不向社ヲ  
立吉凶ヲ日用トキ只正直ヲ以テ主トシ是非邪正之窮理ヲ  
不言齋戒祓除ヲ主トシ克己氣質ノ變化スルノ功ニス其末  
弊ニナリテ只禰宜山伏ノナリトシ里火ヲ忌願ヲ立守ラサレ  
狐ヲラダスノキト云儀成婆ヤノヨクナルヲ事ト費スル皆神  
ノ字ヲ以テ主トスルノ弊也山崎先生トイハレ此弊ヲ不免蓋寫信  
スルノ誤カ窮理ノカコシテ又ハ所好ニ阿子ルカ先覺ノナリ  
カク云如何トシバ何トシワケアルヘケレ後世ヲ論ハシテナリ  
世氏天地神明ノ道前ニ云ニ知リタガフカニモソモソ非ズ吾  
國ノ神明ノ道本原上古ノ時純一無雜ノ教正脈アルベシ全體  
書ヲ不見候故擇クテ何リ神道者ノ持候本書傳授  
令皆書件候ヲ得度候一生ノ間ニ存寧クテ書件ヲ其正脈  
ノ節不慮カク撰神明ノ道ノ正キヲ吾邦ノ奉云ニ明  
テ世ニ行ヒ其ヤレ失タレ神道ノ説分明ニ辨シ宜度存候  
儒學アル者日本ノ神道フトクテ淺陋ナルコト也神明ノ道其

此神ノ宗ヲテアハヨケテ其ノ後ニ傳ク係ニルモ大ノ誤ニテ信候  
聖人ノ道モ天地自然ノ道本ニ何ノニワアルヘキ吾國モ上古ヨリ  
以來教聖人ヲ継世ニ出タラハ則神明ノ道ニ本ツキ人ノ道親切ノ  
教アルヘキ其道ノ行ハルナリモ其様ニアルヘキ經書モ天下通行  
ノ則レナルアルヘキ夫其國ニ生レテ其道ヲ見テ非ラカテ只信ニル  
也初其邦ニ生レテ其國ノ神明ヲ崇ムヘキト云フ不顧ノ不朋  
不義也山崎先生道世道學ノ任ニテコレハ日本相傳ノ學ヲ發揚  
スキ合此誰ヤアルヘキ只右ノ如クテ天地神明正當ノ昔ツキ人倫  
當然ノ道用シトヤス旧習ニ所蔽天下後世ノ正則ヲ以テ所ナク  
疑フモノ撰ニ被致候政ハ予載ノ遺傳也下云平生相傳ノ旨モ  
親切ナル所モ有之説アラハル所ニモ指シテ其ノ後ハ何ト  
全備ノ書説ヲ皆見候ハ是是非非天書トナシタキト云存テ  
ニ候吾邦正統ノ正キト是等ハ日本ノ万国ニ勝タリ了結在之  
候任班リノ宗廟天下万世ノ正統ノ大本原トナリ君臣上下ノ  
事仰維持スル大石分必以不可向後後人ノ願フニル

人心ノ信仰ノ清シタルノ利職ノミタリカハヒキノ何ノカト云海  
其上ノ吟味天下ノ大根本ト云テ至テ吾邦正統上下散テ此  
ナ中ハ皆名ノ正故也程子論ノ卦ノ易傳則此者也學者格物  
ノ學ニ進ニテ也若只唐ノ儒言ニテモハセテ其ニ偏ニ貴ル  
格物モ惟一用ニ立ハカリ也其神道ヲクハキトステルニ格物ヲ  
シラヌト云ニシテ只神道ト云ハ日本ノ人カモテ之ヘキヤウニ神道  
者モシモイ儒者ヲクハキモ日本ハカリヤウニシモイテ而カ  
ニ天地ノ道ニ私ルカクシテ中トクニテ候仁下氏何カト云  
候下不存候ヘキ全体天地又偏ノ正偏不明ト云可有候向神  
道ト申テ説モ例ノ日本流ノ秘傳ノ神道ト云可有候元角大  
眼力大見識其地四方ヲシテテ本然實然之理ヲ則トモ  
神道ニイハルモヤ下人ノ一トモヤ見學合テモ程子易傳ヲ  
著シテ伏羲ノ教ヲレ候ヲ弟子邵庸ヲ傳テ陳圖南ヤリ  
道家ノ家ヲリ精緻ノ傳ヲ撰出サレ陪蒙本義ヲ著シ天地  
神明之此ヲ南ニ世ニ明メリ候下格物ノ窮リヤキト云

一候一書著候ト申モ右ノ説ニ故只大要ヲ論ニ候討テテ神  
道者、異論止ニ不申候向、年書ニ即テ上ラト度候末々其  
向モ所有之候ニ種神器相傳リ、トハ極ニ有寄リノ説  
有之候ハ書中ニ難申、蓋候學者ノ大ナル感ハ湯本天命ノ  
第ワ以吾、國王統ノ正シキヲシテ、中國夷狄ノ言統ニ自  
夷狄ト思ヒ、神道者ノ説ニラホシテ、信ト日本ハ鬼神ノ道焉  
様ニ思ヒ、人倫平寧ノ教ニキリ、鬼神ノ道ヲ不信、教鬼  
神而遠之ハ、日月平寧、教人、近ノ要領ニ、鬼神ノ全体ノ道  
ハ、易ニト申、中庸ニ言ニキリ、凡ラ忘シ、後初ニモ云消シトス  
ル天皆所見、偏取好ノ私ナリ、神道者ノ論、神道ヲ吾國ノ  
トシヤト思ヒ、神物精氣ヲ持テ、日月ノ三綱ニ常ニ聖賢ノ教ヲ  
異國ノイテ、ト思ヒ、坊間ノ責ニ、人倫日用仁義ノ實ニ事ニ  
即テ、學ヲクナリ、祈禱靈應、若山福福ヲ以、人ヲ畏服サセ  
社ラ庭テ、忠信義士、人倫トアリ、ウカラナリ、ヤリヤリ  
申是ト名限、筆紙ニ載カ冬ノ山、若生靈社ニ、云ラレ

ヤリヤリモ皆其弊ナリ、先角神道ハ、鬼神全體ノ道ノ目ノ鬼  
人倫ノ教ナリ、人倫ノ道ハ、全體ニテ、天地鬼神ニ教セテ、深  
ク鬼神ニテ、教人、道ハ、人倫ニテ、明キト、自ラ神ノ字ヲ、日月ノ  
ノ弊ナリ、是レ注而不合、其敬ハ、鬼神而遠之、立之、禱久、其不能事人  
焉能事鬼、聖人平寧寧之、多教、不可獲、如、美、ソ、シ、ギ、ト、云、テ  
神明ノ道、又、多、不知、皆、聖賢ノ、旨、得、ル、ナリ、ト、云、是、等、ノ  
一、甚、長、中、ノ、教、言、筆、載、カ、ク、候、御、向、後、未、大、儀、御、有、為、有  
間、敷、候、却、神、道、ニ、惑、フ、様、モ、ウ、可、申、伏、免、有、傷、音、神、書、何  
ニ、モ、テ、ウ、カ、カ、一、一、吟、味、ト、是、非、善、惡、ト、思、ヒ、候、ハ、様、モ、紛、ニ、難、モ  
ウ、カ、是、リ、モ、チ、候、先、指、當、社、ラ、庭、テ、祭、候、一、筋、ニ、テ、下、一、為、國、家  
ニ、事、前、ナ、ト、任、ニ、候、ハ、コ、ホ、ウ、テ、ス、ウ、中、注、記、等、ノ、社、大、分、ニ、テ、候  
又、忠、臣、義、士、勳、功、ノ、社、新、シ、テ、取、セ、可、申、モ、大、分、ニ、候、先、候、其、特  
ハ、神、道、者、ハ、腹、立、可、申、候、傷、者、リ、リ、ヤ、コ、リ、神、道、ニ、惑、タ、ト、可、申、  
候、一、笑、ニ、免、有、人、倫、一、致、ニ、テ、鬼、神、ハ、ナ、キ、ハ、ウ、幽、顯、神、人、天、地、一  
致、ニ、シ、レ、バ、何、ノ、疑、フ、ク、モ、無、ク、神、人、ハ、人、各、其、當、地、ニ、モ、ト、云、ク、



神明人倫皆其道之無所不備非其人難與言矣

跡部氏問

愚生我取道ト神道ト遠候テ疑候初之意趣ハ神道ノ旨  
道君臣父子夫婦兄弟朋友モ立修テ御座候故也  
候然我聖道ハ居教窮理學求仁ノ功夫是先可ク御座候  
仁義禮智性ノ身ニシテ循テ道ノ久シク道ハ親我別序信也

敬下五倫ノ明セシ為也小學ノ節又大學三綱領ハ兼自中庸ノ  
正直自也道ヲシ候ハハミテ此ニシテ  
中和ハ道ノ心經言神書ハ合見申候ニ不合候如何  
事物ノ用ハ此子路ノチニテ神祕靈物ニカシ余リ人道ノ此ニテ平實明白  
事ノ候ヤ弟度奉存候書經使契為司徒敷五教孟子曰  
此ノミハス候  
民為貴社稷次之君為輕ト大學子夏命不見ノ此ト又惟  
意有之コレヲ常トスレバ君臣大夫士ノ事アリ  
一三則社稷トシテ神道者ハ由故利ト

不干常ニテ諸語非其鬼而祭之謂也又敬鬼神而遠之又丘之

禱久矣類シク此ニ不合候神道ニ靈ヲ封スルト申リ祭  
神主トシテ其神靈ヲ一國ヨリ人ト申リ祭  
端先主トシテ此靈社トシテ常ニ存生中ヨリ靈ヲ封スルト申リ祭  
ハ自也ト正シテ神道ノ自也ト申リ祭  
ノ拜シテ由竹下氏申候直方丈モ兼申候是聖賢鬼神  
聖人自也ト申リ祭  
敬感格ノ理トシテ遠申候是又兼申候是聖賢鬼神

日本ハ君臣ノ義重シト申候五倫中ト云下申ノ道ト云我  
天子道ト云下世ノ道ト云被存候五性ト云下世ノ道ト云我  
五倫各同ト云被存候五性ト云下世ノ道ト云我  
ト云下世ノ道ト云被存候五性ト云下世ノ道ト云我  
體大節ト云下世ノ道ト云被存候五性ト云下世ノ道ト云我  
朱子正義ト云候異國ト云下世ノ道ト云被存候五性ト云下世ノ道ト云我  
此後兼度奉存候天地ノ間ト云下世ノ道ト云被存候五性ト云下世ノ道ト云我  
安之於時有之是亦也吾邦ハ正統不變ノ君臣不易ト云是亦也







批之後如此

或人神道之偽書ヲ排し候所行 二有之候由來候故其  
ワテ一辨之候半ト相争候得共見ク不申候先御向目批  
点アラシ書付候一臣存念ノ十分一毛難書奉候許生  
天其通三候頃日為諸生大家高貴皇命論議候及彼極  
論天下之學古今傳位共ニ格物ノ字失候義通病ニテ候  
其故論的ニ字ノ好候是世古大痛痛カ所宜有客  
免有智賢平輩ノ教明備養揮ノ元所ナリ候向證ニ成  
病、書多自ラ身ニヤル所フニハ白シ而ク、得カ、方ヲ  
主張ノヨリ処ニナリ候、ナリ、ナリ、是候心經ノ主張  
元ニ此候也

答部良賢同目  
辨主叙

一神及偽之不同之義疑有之故存書申上亦云目如神  
道古來ノ智賢ニ疑ノ可也之有之ニ云來相疑也其  
唱ノ神道ノ正統ニ云世之山崎元一ニ云格カ以レ  
神ノ名切道ニ云世之辰田存信ノ其後格カ神言述  
此佛之と云之傳説ニ云亦神道正統ニ云山崎集七

此下思及レる唐大ノ思昌立至極出向成中ニ云存 要  
一、年勿論ニハ伊ノ前中ノ道邪去不也信集ノ中ニ凡水凡葉等ノ云云南見  
大義不可違之也 只乃之云此也リ名爲大等ノ下也  
神ノ名切道ニ云世之辰田存信ノ其後格カ神言述ニ

漢侯下申各々の皆三ツキ候テ申クハ一（生）の向（下）りの情（態）モ可有候  
先儒此の編（目録）書より寸（分）にして此（の）道（論）を成（す）る（に）有（す）

都（て）高（き）なる（に）神（の）心（を）家（か）に（て）傳（つ）は（せ）る（に）先（の）人（の）言（を）傳（つ）

聖（き）言（を）傳（つ）は（せ）る（に）先（の）人（の）言（を）傳（つ）は（せ）る（に）日（に）上（り）古（き）神（の）道（論）

記（し）神（の）代（名）在（り）語（を）中（に）後（は）是（人）年（書）に（て）己（が）り（外）に（在）

一（十）し（出）能（は）水（分）記（し）傳（つ）は（せ）る（に）記（し）神（の）道（論）

類（と）右（の）書（を）中（に）年（先）然（る）に（て）根（拠）を（し）る（に）大（き）書（に）  
共（に）大（き）山（崎）自（家）記（し）手（録）書（等）が（未）だ（終）見（し）ら（ず）有（す）之（に）故（手）  
通（つ）や（り）一（し）  
一（考）候（て）モ（存）在（し）

泉（の）心（を）傳（つ）は（せ）る（に）皆（は）先（の）人（の）言（を）傳（つ）は（せ）る（に）右（の）言（を）先（の）人（の）言（を）傳（つ）  
四（書）に（在（り）る）右（の）流（を）傳（つ）は（せ）る（に）先（の）人（の）言（を）傳（つ）は（せ）る（に）一（し）

判（別）と（知（し）可（し）右（の）書（を）傳（つ）は（せ）る（に）他（の）書（を）求（め）別（に）神（の）道（論）を（取）ら（せ）書（を）  
手（前）に（在（り）る）神（の）心（を）傳（つ）は（せ）る（に）一（し）流（を）傳（つ）は（せ）る（に）神（の）道（論）を（取）ら（せ）書（を）

之（を）以（て）又（も）一（し）流（を）傳（つ）は（せ）る（に）好（む）書（を）傳（つ）は（せ）る（に）日（に）中（に）上（り）書（を）  
之（に）易（先）天（の）圖（を）道（徳）如（徳）精（髓）の（書）に（て）四（書）六（經）に（モ）一（し）ラ（ズ）程（子）

ノ（神）道（論）に（モ）非（ス）中（國）聖（人）ノ（鬼）神（ノ）説（を）傳（つ）は（せ）る（に）大（き）凡（凡）異（説）  
之（に）不（用）候（得）る（に）陳（國）南（華）仙（術）道（家）傳（の）候（に）若（し）子（部）手（録）少

得（る）に（モ）表（章）之（に）易（道）大（全）天（下）后（世）明（の）り（況）や（吾（國）國（家）來（り）  
先（の）聖（人）道（論）を（傳（つ）は（せ）る（に）別（に）神（道）論（を）傳（つ）は（せ）る（に）日（に）中（に）上（り）

相（傳（つ）は（せ）る（に）鬼（神）の（心）を（傳（つ）は（せ）る（に）左（の）言（に）六（經）ノ（全）作（に）同（に）様（に）在（り）此（に）  
右（の）言（を）傳（つ）は（せ）る（に）是（れ）非（取）ら（せ）る（に）一（し）右（の）聖（人）ノ（書）に（モ）事（り）欠（け）

書（中）也（は）止（り）去（る）中（に）神（明）有（戒）ノ（道）相（容（れ）り（陽）陽（道）也（は）終（に）威（を）  
ま（の）神（明）書（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）

神（の）道（論）を（傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）  
生（り）人（の）威（を）傳（つ）は（せ）る（に）一（し）互（に）極（を）傳（つ）は（せ）る（に）一（し）互（に）極（を）傳（つ）は（せ）る（に）一（し）

心（に）非（ス）後（世）ノ（世）子（者）ノ（威（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）  
非（ス）後（世）ノ（世）子（者）ノ（威（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）可（し）之（を）傳（つ）は（せ）る（に）  
一（し）互（に）極（を）傳（つ）は（せ）る（に）一（し）互（に）極（を）傳（つ）は（せ）る（に）一（し）互（に）極（を）傳（つ）は（せ）る（に）一（し）

一、事なり此義經論三用三立正道不傳一、事なり此義經論三用三立正道不傳  
二、事なり此義經論三用三立正道不傳二、事なり此義經論三用三立正道不傳  
三、事なり此義經論三用三立正道不傳三、事なり此義經論三用三立正道不傳  
... (repetitive text) ...

又在下之明細示教之經

一、目也神は偽書ノ鬼神神也ノ意ト同意ト云々天也神ノ  
... (text with many annotations) ...  
二、目也神は偽書ノ鬼神神也ノ意ト同意ト云々天也神ノ  
... (text with many annotations) ...

又在下之明細示教之經

又在下之明細示教之經

世相似たりトヤリ申シテ正レリナルカ備シテ神道ノ本質カハ其カ  
也トシテ道ノ下リ聖人ノ心ト云レバ異トシ又ニ自レ世ノ本質カ

ト立レ上世ノ者ノ道トハ其カ自レカ仗義執リテ云レク聖人ト云セ

ノ尊崇スル人ト云レバ凡レ少書ク引レタルコト後世ノ教ト其カモ  
大書クテ進テ其極トヤリ何ノ事ニテ有レ之カ易学ノ本質カ其カ

外レテ仗義ノ言行初作リ上教ラ立ル形ノ見ヘ不申カ確意ハ

吾レ之ヲ無学ノ者ノ人育レ其子孫ト云テ先レ世ノ本質カ

其学ノ者ト云テ教レタルコトホドニテテ其カ其カ其カ

ト云レバ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ

其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ  
其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ

其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ  
其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ

其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ  
其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ

其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ  
其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ

其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ  
其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ

其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ  
其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ

其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ  
其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ

其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ  
其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ其カ



易傳の易を異中中ト云ト曰之古有り  
（易傳の易を異中中ト云ト曰之古有り）

見ラ程傳の易を異中中ト云ト曰之古有り  
（見ラ程傳の易を異中中ト云ト曰之古有り）

六易觀の語其外神ノ語フヒリ程氏の中論の中  
（六易觀の語其外神ノ語フヒリ程氏の中論の中）

中道の右の明德の初來の而自の右の元如の可矣の志  
（中道の右の明德の初來の而自の右の元如の可矣の志）

當日の神道と云ふ語を程氏の易の注に於ては  
（當日の神道と云ふ語を程氏の易の注に於ては）

又山崎の易の傳の易を異中中ト云ト曰之古有り  
（又山崎の易の傳の易を異中中ト云ト曰之古有り）

其皆同意の語を各別ノ語に之を以テ傳授の中  
（其皆同意の語を各別ノ語に之を以テ傳授の中）

下氏（延）の自名三ノ取の如きの言はれ  
（下氏（延）の自名三ノ取の如きの言はれ）

是書ハ燒中の所を以テ追上不任トナリ日神  
（是書ハ燒中の所を以テ追上不任トナリ日神）

道ノ只知の中の一ノ其道と云ふ言はれ  
（道ノ只知の中の一ノ其道と云ふ言はれ）

而後之の言はれ教の如きの言はれ  
（而後之の言はれ教の如きの言はれ）

之の言はれ中の一ノ其道と云ふ言はれ  
（之の言はれ中の一ノ其道と云ふ言はれ）

易傳の易を異中中ト云ト曰之古有り  
（易傳の易を異中中ト云ト曰之古有り）

程傳の易を異中中ト云ト曰之古有り  
（程傳の易を異中中ト云ト曰之古有り）

中論の易を異中中ト云ト曰之古有り  
（中論の易を異中中ト云ト曰之古有り）

易傳の易を異中中ト云ト曰之古有り  
（易傳の易を異中中ト云ト曰之古有り）







カハ佛の如く... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

一主静存養... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

字向指... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

本時... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

朱子... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

リ... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

下... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

コ... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

余... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

ト... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

下... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

賤人... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

一... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...

一... 兼の如く... 兼の如く... 兼の如く...



静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の直下有而居之者其静也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也

静の直下有而居之者其静也

静の色動名取静之者人不知之也







此其や系列なり **けり**

一弟子は後を承けて傳へて講釋すべし

其先師を承けて傳へて講釋すべし

久しからずして其先師を承けて傳へて講釋すべし

しつとてその傳へて傳へて講釋すべし

其先師を承けて傳へて講釋すべし

以前に承けて傳へて講釋すべし

一先師を承けて傳へて講釋すべし

其先師を承けて傳へて講釋すべし

久しからずして其先師を承けて傳へて講釋すべし

しつとてその傳へて傳へて講釋すべし

其先師を承けて傳へて講釋すべし

以前に承けて傳へて講釋すべし

一先師を承けて傳へて講釋すべし

其先師を承けて傳へて講釋すべし

久しからずして其先師を承けて傳へて講釋すべし

しつとてその傳へて傳へて講釋すべし

其先師を承けて傳へて講釋すべし

以前に承けて傳へて講釋すべし

一先師を承けて傳へて講釋すべし

其先師を承けて傳へて講釋すべし

久しからずして其先師を承けて傳へて講釋すべし

しつとてその傳へて傳へて講釋すべし

其先師を承けて傳へて講釋すべし

以前に承けて傳へて講釋すべし

終りて元傳候へりてより其角も元候へ直方丈  
一先七二口候お輔下九

上書通らる候に其角も其原候候一待候也

聖學判死ら可有之と孫合ふ方出候先也

職師人ぬらも実字傳書教上忠ら候に部

内下りてその教成る旨可有りりも山崎之可

由学院一と辨くも幸も也て先も職如申なり

學教之衰と其方好らるも其元候は與

井下由也退之たりと元其旨も傳候いたしり人

有る候也  
何れか其意とて言後又何辨かへたりし其旨も其原の  
地可有之なり其意も其旨も其原の地可有之なり  
況自下干中なるも

一考凡教に氣の下直方丈にお入らる其仔細

口下へは其意も其旨も其原の地可有之なり

下不音は其直方丈は其旨も其原の地可有之なり

伝説は其旨も其原の地可有之なり

之原も其旨も其原の地可有之なり

種も其旨も其原の地可有之なり

直方丈も其旨も其原の地可有之なり

直方丈も其旨も其原の地可有之なり

直方丈も其旨も其原の地可有之なり

直方丈も其旨も其原の地可有之なり



